

【 会 議 録 】(概要)

日時:平成 20 年 7 月 3 日(木) 18:00 ~ 20:00

会議名	越谷市自治基本条例審議会 第 2 部会 第 6 回会議	場所	越谷市役所第二庁舎 3 階 会議室
件名 議題	協議事項 (1) 7 月 1 日の市民参画プロジェクトチーム幹事会の報告 (2) 個別検討事項について		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無		
出席者	出席委員 小河原部会長、高橋副部会長、有元委員、伊藤委員、宇佐美委員、大熊委員、加藤委員、 帆苅委員、佐々木委員 (9 名) 欠席委員 なし 事務局 田中企画課副主幹、斉藤同主事 (2 名) 支援者: 特定非営利活動法人越谷 N P O センター (2 名) 傍聴者 なし		
内 容	合意・決定事項等 ・個別検討事項について、次回の第 7 回会議で再検討することとした。 ・懇談会開催予定時期(8 月 23 日 ~ 9 月 28 日)の各委員の予定は、第 7 回会議に提出することとした。 (事務連絡) ・第 7 回会議 7 月 10 日(木) 18:00 ~ 19:00 越谷市役所第二庁舎 3 階会議室		

主な意見、発言等

(1) 7月1日の市民参画プロジェクトチーム幹事会の報告

- ・市民参画プロジェクトチーム幹事会の報告から、本審議会の進行予定が当初より遅れてきていると感じる。運営・調整委員会で予定表の調整をして全体会に報告してほしい。

(2) 個別検討事項について

- ・議会の定数に市民の声を反映させる仕組みがほしい。
- ・監査に関して、行政機構がちゃんと機能しているかのチェックが大事だが、監査委員の人数が少ないと会計監査だけで終わってしまうのではないだろうか。
- ・行政監査だけでなく、行政機構として効率が上がっているかなどをチェックする機関に行政考査というものもあるが、越谷市ではどのようになっているか。
- ・鎌倉市の自治基本条例（素案大綱）に参考となる部分が多い。
- ・市内の学校では現在、自己評価と外部評価（学校評議員制度）のシステムを備えている。
- ・越谷市では、内部評価と外部評価の両方を行っているが、その評価に市民がどうアプローチしていくかを考えなくてはならない。
- ・行政の情報提供と、市民側の心構えの双方が重要になってくる。
- ・過去のものだけを評価するだけでなく、今動いている施策についても評価・考査をやる組織も必要だ。
- ・進行中のものについても、予算編成段階で情報を公開している自治体もある。意思決定過程で市民が意見を言えるシステムがほしい。
- ・行政運営が正しい方向に行っているか、ということまで市民が見ることができるようなシステムが必要だ。
- ・行政も市長が年度始めに所信表明をしていたり、予算決算の状況を公表している。市民の側も、きちんと目を通すことも大事と思う。
- ・議会や委員会の開催が平日だけでは参加（傍聴）できる人が限られる。市民が参加しやすくなる工夫はできないものか。
- ・条例に高い精神は必要だが、あまり高い水準を掲げると、市民に受け入れられないのではないだろうか。
- ・傍聴しやすい議会は開催してほしい。議会や委員会が市民に近い存在になると、選挙の投票率も上がるのではないか。
- ・投票率が低いと、選挙で選ばれる議員が多くの市民の付託を受けているとは言えなくなる。
- ・市政に関して、市民は「わからないから関心がない」ということが起こる。例えば、若者が議員の話を聞くなどの機会があっても良い。